令和２年度 袋井市子ども読書活動推進計画読書調査結果について

１　要旨

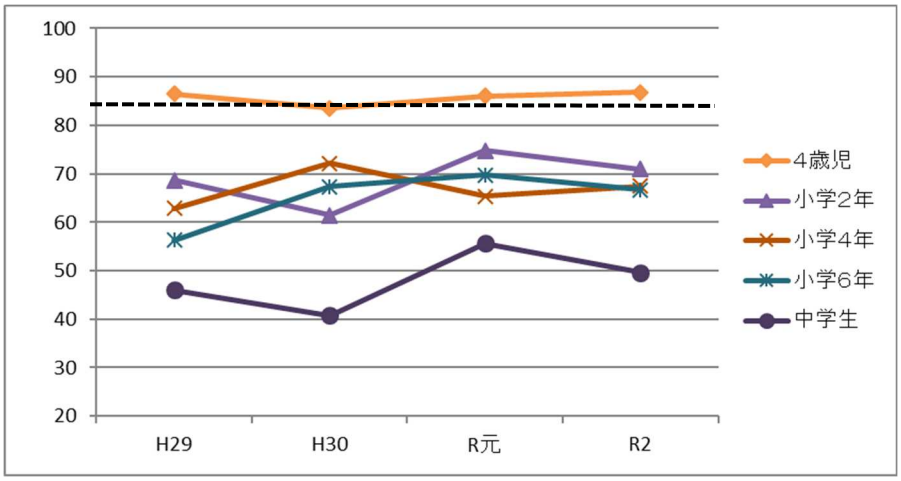
子どもの読書の状況及び小中学校における読書啓発活動等の現状を把握し、子どもの読書活動推進に向けた取り組みに活用することを目的とし、アンケート調査を実施した。

袋井市内の幼稚園こども園等（以下「各園所」という。）の園児、各小中学校のうち指定の学年から１クラスを抽出し、アンケート調査（設問６項目）を行った。

調査の結果、「１か月の子どもの読書冊数」については昨年より増加しているが、「週に一度は家庭で本に親しむ子どもの割合」「本を読むことが好きだと答える児童生徒の割合」等減少した項目もあり、引き続き、家庭、各園所、小中学校、関係各課と連携して、子どもたちの本への関心が持続するような取組を行なっていく。

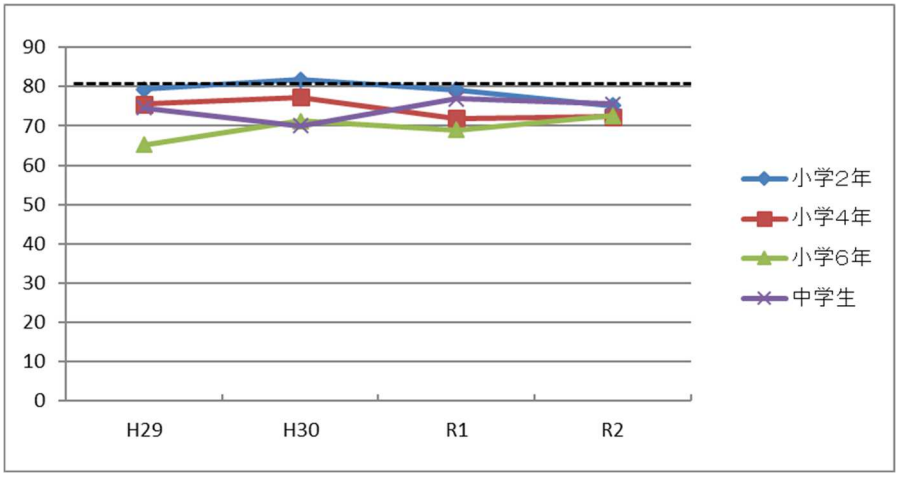
２　アンケート項目

（１）週に一度は家庭で本に親しむ子どもの割合　目標値　85％



結果	今後の対応
４歳児、小学４年生は、前年より増加し、他は減少した。 目標値に対し、4歳児は上回っているが他は下回った。	家族で読書をする時間を設けるきっかけとなる「家族読書の日」の実施の推進を各園所や学校を通じて保護者に周知する。

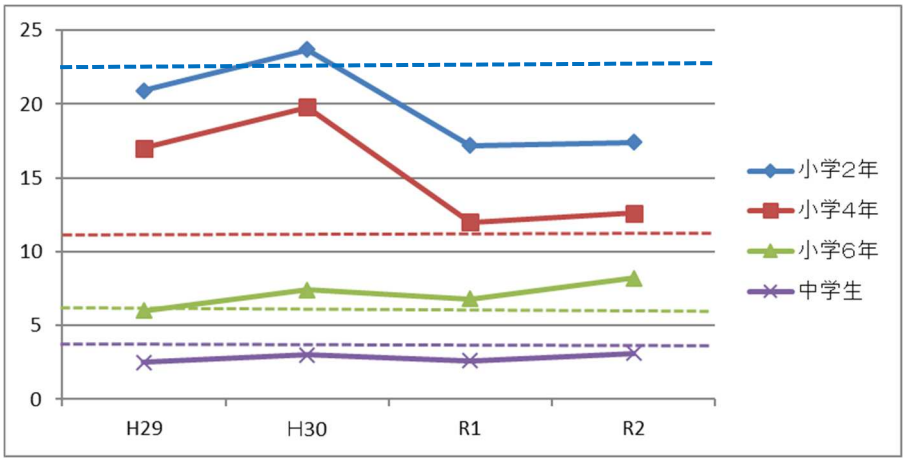
（２）本を読むことが好きだと答える児童生徒の割合　目標値　80％



結果	今後の対応
すべての学年で、目標値には達していない。小学４年、小学６年で前年度より微増したが、小学２年が年々減少している。	本に興味を持つよう、発達段階に応じた働きかけを行っていく。 また、おすすめの本のリストを配布し、本との出合いを促していく。

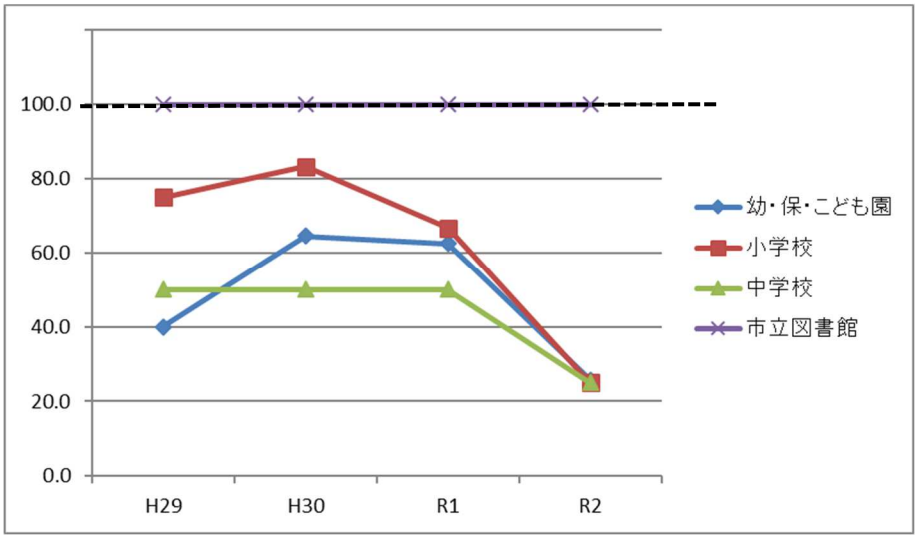
（３）１か月の子どもの読書冊数

目標値　小学2年生23冊、小学4年生11冊、小学6年生6冊、中学2年生4冊



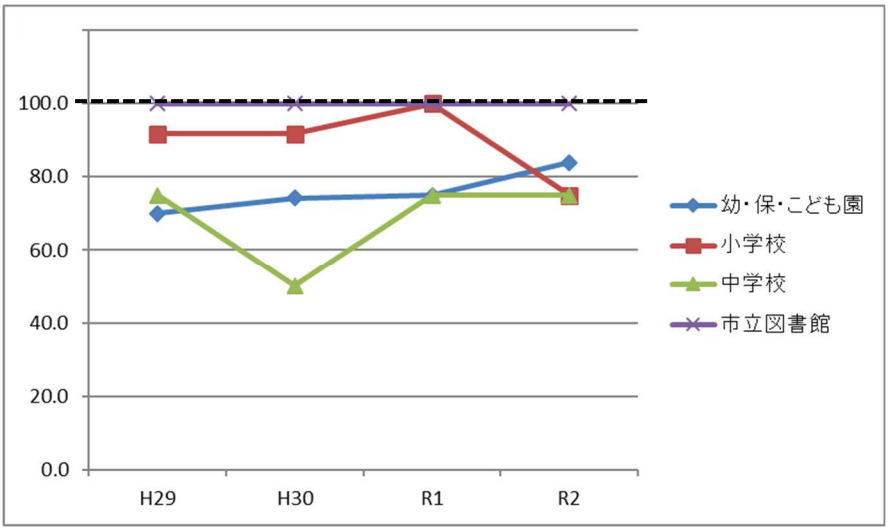
結果	今後の対応
全学年で前年より増加した。 目標値に対して、小学2年生と中学生は下回り、小学4、6年生は上回った。	学校図書館の充実を図るとともに、市立図書館から授業支援用図書の貸出や図書配本を積極的に行い、児童生徒の身近に魅力的な本がある環境を整える。 また、児童・生徒がＩＣＴを活用して本の情報を得ることができる環境を整える。

（４）「子ども読書の日」（4月23日）にかかる読書啓発活動の実施　目標値　100％



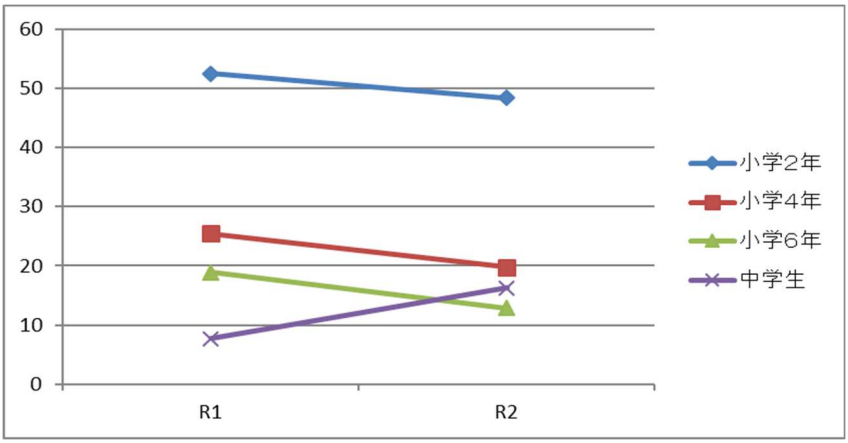
結果	今後の対応
緊急事態宣言（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）が発令され、休園、休校となり実施できなかった学校や園が多かった。	状況により、市立図書館から各園所や学校におすすめ本の情報提供など「子ども読書の日」の啓発活動を援助する。

（５）「読書週間」（10月27日～11月10日）にかかる読書啓発活動の実施　目標値　100％



結果	今後の対応
前年より各園所で増加した。 目標値に対して、市立図書館以外は達していない。	市立図書館から各園所や学校におすすめ本の情報提供など「読書週間」の啓発活動を援助する。

（６）1か月に図書館を利用した児童生徒の割合（令和元年度からの新規項目）



結果	今後の対応
前年より、中学生の利用が増加し、小学校のすべての学年で、減少した。	本への関心が続くよう「ふくぶっくつうちょう」等を活用し、利用を啓発するとともに、学校と連携し、高学年からの利用促進に努める。

３　今後の主な取組

・各園所や小中学校での読書活動が盛んに行われるよう、市立図書館が授業用図書の貸出や図書配本を通じて、サポートしていく。

・児童・生徒がＩＣＴを活用して本の情報を得ることができる環境を整える。

・引き続き、市立図書館で実施している「ふくぶっくつうちょう」や「ほんナビきっず」を周知するため、ブックスタートやおはなし会等で紹介するとともに、新一年生や来館者にチラシを配布しＰＲする。

・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、家庭で過ごす時間が増えているが、家庭で読書に親しむ時間は増加していないため、子どもたちが身近に本と出合える環境を整えていく。